

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育指導課子ども安全支援室長	村本 愛治	電話番号	0852-22-6842
----------	----------------	-------	------	--------------

事務事業の名称	不登校対策推進事業			
目的	(1) 対象	公立小・中・高校及び県立学校の不登校（不登校傾向）児童生徒		
	(2) 意図	対人関係に安心感を持って、集団生活に慣れ、学校復帰ができるようにする。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育支援センター等運営事業 各市町村が設置している教育支援センターは、不登校児童生徒の学校復帰、社会的自立を目的とし、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための取組を行っている。 			

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公立小・中・高校及び県立学校不登校児童生徒数	目標値		852.0	809.0	768.0	729.0	人
		取組目標値						
	式・定義 公立小・中・高校及び県立学校不登校児童生徒数	実績値	899.0	989.0				
		達成率	-	116.1	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	33,480	32,353
うち一般財源 (千円)	33,480	32,353

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○小・中学校の不登校児童生徒数は前年度と比較して増加（小学校：H27 192人→H28 220人、中学校：H27 507人→H28 561人、県立高校：H27 200人→H28 208人）。

○不登校児童生徒の学校復帰を支援する教育支援センター（10市町12施設）への通所者209人のうち、72人が学校復帰を果たしている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 教育支援センター通所者のうち学校復帰を果たした児童生徒数が増加した。（H27：57人→H28：72人）
- 教育支援センター連絡会（H28.7.25）を開催。各教育支援センターの取組について情報交換を行うことで、互いの連携や運営の改善に反映された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 不登校児童生徒数は、不登校傾向児童生徒数とともに増加傾向にある。学年が上がるにつれ欠席が長期化している。また、不登校の原因、要因が多様化、複雑化しており各学校において対応に苦慮している状況がある。

②困っている状況が発生している「原因」

- 児童生徒一人一人の課題、背景が多様化・複雑化していることから学校及び教職員の負担が増加している。また、教育支援センターへの通室が、通室手段の面で困難な児童生徒もいる。
- 児童生徒間のリレーション（関係・つながり）の不足がある児童生徒が、学習でのつまずきから不登校に至るケースがあり、授業における居場所づくり、絆づくりの取組が一層求められる。

③原因を解消するための「課題」

- 授業を中心とした居場所づくり、絆づくりを推進する
- 教育支援センターと不登校児童生徒が在籍する学校との連携強化
- 教育支援センターへの通室が困難な児童生徒に対する支援方法の改善（ICTの活用等）。
- チーム学校として教育相談体制の充実

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 不登校児童生徒に対する支援について、チーム学校として教育相談体制を充実させるとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員、教育相談員等の支援員、行政など関係機関との連携を強化し、情報共有と早期対応を一層進める。
- 不登校児童生徒の支援について、教育支援センターと連携しながらICTを活用した学習支援や訪問指導など支援の在り方の多様化を図る。
- 不登校の未然防止を図るため、学校においては積極的な生徒指導を推進するとともに、家庭、地域・市町村の福祉課等との連携を進め、子どもや家庭の支援を充実する。